



# 令和8年度 船橋市立坪井中学校 学校経営グランドデザイン

不易

船橋市教育振興基本計画

「ふるさと船橋を愛する心豊かでたくましい人づくり

流行

「管理」から  
『生徒主体』へ

学校教育目標

「豊かな心を持ちたくましく生きる生徒の育成」

「序列」から  
『個別最適な学び』へ

令和8年度研究主題

「自らが社会の創り手となる生徒の育成」～チーム坪井で支える、誰一人取り残さない学校づくり～

令和8・9年度 『主権者教育』 船橋市教育委員会研究奨励校

【めざす学校像】

- (1) 「心理的安全性」が構築され、挨拶と笑顔があふれる
- (2) メンタルケアが充実し、生徒が安心して生活できる
- (3) デジタルとアナログが適度に共存する
- (4) 「管理」と「序列」から「生徒主体」と「個別最適」へシフトする
- (5) 社会に開かれ、地域の担い手となる人材を育成する

【めざす教師像】

- (1) 「教える」とともに「引き出す」ことができる
- (2) 「わからない」を歓迎する
- (3) 社会の動きに高くアンテナを張り、指導につなげる
- (4) 自らが「学び続ける楽しさ」を体現する
- (5) データやエビデンスに裏付けられた経験や勘を駆使する

【めざす生徒像（【知】・【徳】・【体】）】

※これら3つは独立せず、【体】という土台の上に【徳】という方向性があり、その推進力として【知】があるという相互関係にある

【知】

- (1) 「答え」だけにこだわらず、「問い」を立てて学びを深める
- (2) 「なぜ？」を突き詰め、物事を多角的に分析して解決策を導き出す
- (3) 大量の情報から真偽を見極め、AIを道具として使いこなしながら、付加価値を生み出す
- (4) 自分の考えを言語化し、異なる背景を持つ人々と議論を深めるための土台となる力を持つ

【徳】

- (1) 自ら夢や目標を抱いて生活する (Hope「希望・夢・目標」)
- (2) 自分ならできると思える (Efficacy「自己効力感」)
- (3) しなやかで折れない心をもつ (Resilience「レジリエンス」)
- (4) 「なんとかなる」「きっと大丈夫」と思える (Optimism「楽観性」)
- (5) 異なる文化や価値観を尊重し、分断ではなく協調を目指す
- (6) 「自分が社会をより良く変えていく」という当事者意識をもつ

【体】

- (1) デジタルデバイスとの適切な距離感を保ち、睡眠、食事、運動を含めた心身の健康を自分でコントロールできる
- (2) 予測不能な事態に直面しても、動じずに動けるだけの基礎体力と軽いフットワークができる
- (3) 変化の中でストレスを解消し、長期的にパフォーマンスを維持するための習慣が身についている

## 各指導部が目指す方向性

【学習指導部】

- ・学習指導 「知識及び技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」「学びに向かう力・人間性等の涵養」
- ・総合的な学習の時間 探求的な学びのプロセスを通して、汎用的能力を育成する
- ・図書館指導 情報社会を主体的に生き抜くための知識基盤を養う
- ・GIGA推進 「個別最適な学び」「協働的な学び」「主体的に学び続ける力」の育成
- ・国際理解教育 多文化共生と寛容な心の育成、地球規模の課題への参画をめざす
- ・道徳・人権教育 自己を見つめ、他者を尊重し、社会とのかかわりを深める力を育成する

【特活指導部】

- ・学級活動 自分たちの力でより良い学級生活・学校生活を創出する能力を育む

- ・生徒会活動 生徒主体で学校生活を向上させる、社会参画の意識を養う

- ・進路指導（キャリア教育） 意志決定のプロセスを磨き、生き方の土台をつくる

【生徒指導部】

- ・生活指導 一人一人の「自己実現」と「社会的資質」の育成
- ・教育相談 健やかな成長とウェルビーイングを支える基礎作り
- ・長欠指導 将来にわたり、社会的自立をめざす
- ・特別支援教育 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築
- ・保健指導 自らの健康を適切に管理し、改善できる
- ・給食指導 望ましい食習慣の形成と食への感謝の念を育てる
- ・安全指導 安全で安心な社会をつくる一員としての資質を養う
- ・部活動 生徒の自主性の尊重と地域の連携
- ・美化清掃 公共心の育成と生きる環境を整える力の習得